令和8(2026)年度
大阪大学大学院人文学研究科
博士後期課程
外国学専攻

学生募集要項

目 次

はじめに
大阪大学大学院人文学研究科の概要……1
Ⅰ．外国学専攻アドミッション・ポリシー……3
Ⅱ．募集人員……3
Ⅲ．出願資格……3
Ⅳ．出願資格事前審査……4
Ⅴ．出願手続等……4
Ⅵ．入学者選抜方法……7
Ⅶ．英語外部検定試験の利用について……7
Ⅷ．合格者の発表……8
Ⅸ．入学手続……8
Ⅹ．入学料及び授業料……8
Ⅺ．人文学研究科特待留学生制度について……8
Ⅻ．安全保障輸出管理について……9
ⅩⅢ．個人情報の取扱い……9
ⅩⅣ．入学試験における個人情報の開示について……9
ⅩⅤ．その他……10
ⅩⅥ．受験上の注意……10
外国学専攻教員研究分野一覧（予定）……11
案内図・問い合わせ先……15

はじめに

大阪大学大学院人文学研究科は、５つの専攻（人文学／言語文化学／外国学／日本学／芸術学）で構成されています。

人文学研究科の学生募集は、課程・専攻（日本学専攻はコース）ごとに行うため、学生募集要項、入試日程及び選抜方法等がそれぞれ異なりますので注意してください。

この学生募集要項は、人文学研究科**博士後期課程外国学専攻**に出願するための学生募集要項です。

大阪大学大学院人文学研究科の概要

大阪大学大学院人文学研究科は、思想・歴史・文学・言語文化・社会・芸術など多領域にわたり超横断的な学びの場を提供し、国際的な相互理解を推進する研究者・高度専門職業人を育成します。

■人文学研究科のミッション

人文学研究科では、安定した教育プログラムを提供する５専攻群（人文学／言語文化学／外国学／日本学／芸術学）とともに、５専攻を横断して研究科全体の研究・教育体制を俯瞰し、共通科目の提供や専攻を超えた交流等を推進する組織として「人文学林」を設置しています。

「人文学林」では、４つの学問分野と４つの地理的エリアを組み合わせて 16 に区分された「学術マトリックス」を設けており、教員はその 16 の区分に配置されています。学生は所属専攻の垣根を超えてそれぞれの興味関心に従ってその区分を選択することで、社学連携活動を実施したり研究グループを立ち上げたりするなど、専攻を超えた交流や研究の振興、さらには新たな学問分野の創出が可能となります。

■５専攻紹介

人文学専攻　「人間とは何か」を探求する人文学 Humanities の継承と発展

次の４コースにより、「人間性」を探求するとともに、現代の諸課題にも取り組みます。①哲学コース（哲学哲学史、科学技術社会論、臨床哲学、中国哲学、インド学・仏教学）、②グローバルヒストリー・地理学コース（東洋史学、西洋史学、人文地理学）、③文学コース（テクスト表現論［英米文学、ドイツ文学、フランス文学、中国文学］、テクスト環境論）、④比較・対照言語学コース

言語文化学専攻　今日的な課題に幅広い観点から取り組む

３分野６講座（分野Ⅰ： 超領域文化論講座、表象文化論講座、分野Ⅱ： コミュニケーション論講座、第二言語教育学講座、分野Ⅲ: 理論言語学・デジタルヒューマニティーズ講座、言語認知科学講座）が連携しつつ、伝統的なディシプリンと新たな研究領域や研究方法論を融合し、言語と文化に関する高度な教養や情報活用能力を修得することで、今日の多文化・多言語社会における国家・民族・文化間の諸問題等に取り組みます。

外国学専攻　24 の言語とその地域について多角的・徹底的に学べる

24 の言語とそれを基底とする文化一般について、高度な言語運用能力をもとに理論と実践の両面にわたり総合的に教授・研究する「外国学研究」を主眼とし、人文社会科学諸分野や学際的アプローチから世界の言語と文化を研究します。①地域文化研究コース（アジア・アフリカ言語文化コース、ヨーロッパ・アメリカ言語文化コース）、②高度専門職業人コース（英語教員リカレント・コース、中国語教員リカレント・コース）

日本学専攻　基盤的研究と応用的展開の双方をカバーする日本最大規模の日本学専攻

基盤日本学コースと応用日本学コースの２コースを擁する日本学専攻は、日本の言語・文化・社会・歴史・文学などを厳密に学問的な方法に基づいて深く探究するとともに、その専門的知見に基づいて日本の抱える今日的課題に果敢に取り組むことのできる人材を育成します。さらに、比較や交流の観点から日本を世界的視野のうちに捉え、日本語・日本文化についての幅広い知見を基礎としてグローバルに活躍できる実践力・応用力を養います。

芸術学専攻　基礎と社会的実践の両方に立脚、国立総合大学最大の芸術学の専攻

４コース（アート・メディア論コース、美学・文芸学コース、音楽学・演劇学コース、日本東洋美術史・西洋美術史コース）から成る芸術学専攻では、他の何ものによっても代替不可能な営みである芸術を、全国的にも類を見ない規模で捉え、専門的・先端的且つ学際的な厚みと多様性を備えた研究・教育活動を行います。これにより、現代社会の諸システムの制約や限界を超え出る可能性・構想力を持った人材を育成します。

■各専攻の入学定員と学位プログラム

専攻	課程（入学定員）	プログラム	取得できる学位
人文学専攻	博士前期課程（47人） 博士後期課程（14人）	人文学プログラム	修士（文学） 博士（文学）
言語文化学専攻	博士前期課程（32人） 博士後期課程（15人）	言語文化学プログラム	修士（言語文化学） 博士（言語文化学）
外国学専攻	博士前期課程（25人） 博士後期課程（11人）	外国学プログラム	修士（言語文化学） 博士（言語文化学）
日本学専攻	博士前期課程（40人） 博士後期課程（18人）	基盤日本学プログラム	修士（文学） 博士（文学）
		応用日本学プログラム	修士（日本語・日本文化） 博士（日本語・日本文化）
芸術学専攻	博士前期課程（17人） 博士後期課程（7人）	芸術学プログラム	修士（文学） 博士（文学）

＊教授会の議を経て総長が適当と認めたときは、「修士／博士（学術）」を授与する場合があります。

Ⅰ　外国学専攻 アドミッション・ポリシー

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「外国学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

【求める人材像】

学位プログラム「外国学」は、特定地域の言語（中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語）の専門的知識を有し、その言語あるいは言語圏の文化と社会に関する先端的研究、具体的には個別言語を対象にした言語学（語史や音韻、形態、統語、語用等の分析など）、各言語圏の文学（小説・演劇・詩等の文化表象の分析など）、各言語圏の歴史、社会、政治経済（社会の動態と構造の分析など）を扱う学問の先端的研究を実践するに十分な資質をもつ学生を求めています。

また同時に、世界の諸地域の言語や文化に関する高度の教養を身につけ、国際舞台で活躍しうるグローバル人材となることをめざす学生を求めています。

【入学者選抜の基本方針】

学位プログラム「外国学」は、専攻する外国語の高度な言語運用能力を持つ多様な学生を募るための適切な選抜方式を採用しています。また、博士後期課程に入学するためには、上記の特定地域の言語とその言語圏の文化や社会について、本研究科博士前期課程修了者と同等の専門的知識と言語運用能力を有することが求められます。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

上記のような学生を募るため、年１回、次のような選抜試験を行います。

○　研究活動に資する言語運用能力の高さ・専門領域に関する十分な知識を確かめるための筆記試験
○　専門分野の知識や研究計画等を確かめるための口述試験

※　詳しくは、人文学研究科外国学専攻ウェブサイト（入試情報）の「教育目標及び３ポリシー」をご覧ください。（https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a_policy.html）

Ⅱ　募集人員

専　　攻	募集人員
外国学専攻	11名

Ⅲ　出願資格

次の(1)から（8)のいずれかに該当する者

(1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和8（2026）年3月31日までに取得見込みの者
(2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8（2026）年3月31日までに授与される見込みの者
(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8（2026）年3月31日までに授与される見込みの者
(4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和8（2026）年3月31日までに授与される見込みの者
(5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8（2026）年3月31日までに授与される見込みの者
(6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
(7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
(8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上

の学力があると認められた者で、令和8（2026）年3月31日までに24歳に達するもの

※ (7)又は(8)に掲げる出願資格により出願しようとする者は、あらかじめ出願資格の認定を受ける必要があるので、「Ⅳ　出願資格事前審査」を参照してください。

Ⅳ　出願資格事前審査

「Ⅲ 出願資格」の(7)又は(8)に掲げる出願資格により出願しようとする者については、出願前に個別の出願資格事前審査を行いますので、**令和7（2025）年10月10日（金）まで**に、下記の「出願資格事前審査提出書類」を巻末の《書類送付先・問い合わせ先》に提出してください。なお、封筒の表に「出願資格事前審査」と朱書きしてください。

［出願資格事前審査提出書類］

(1) 入学試験出願資格認定申請書（所定様式）
(2) 研究業績調書（所定様式）
(3) 主要論文（(2)の研究業績調書のうちから主要論文３点をそれぞれ３部提出してください。日本語又は英語以外の論文の場合は、日本語訳文（志願者作成可）を３部添付してください。）
(4) 最終学校の卒業証明書＊又は修了証明書＊
(5) 最終学校の成績証明書＊

＊ 写しでも可。ただし、出願資格認定後の出願に際しては、原本を提出してください。日本語又は英語以外の証明書の場合は、日本語訳文（志願者作成可）を添付してください。

＊ 所定様式は、人文学研究科外国学専攻ウェブサイト（入試情報）からダウンロードのうえ利用してください。（https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a_ls_info.html）

出願資格事前審査は提出された書類により行います。審査の結果は、本人あてに郵送で通知します。（電話による問い合わせには応じません。） 出願資格事前審査の結果、出願を認められた者は、次の「Ⅴ 出願手続等」により出願することができます。

Ⅴ　出願手続等

1　出願書類等

入学願書等の所定様式は、人文学研究科外国学専攻ウェブサイト（入試情報）からダウンロードのうえ利用してください。提出書類は**全て A4判用紙（白紙）で印刷**してください。（https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a_ls_info.html）

出 願 書 類 等	摘　　要
入学願書 （所定の様式）	・写真は、上半身正面向無帽で、出願前3か月以内に撮影したものを貼付してください。（写真の大きさ縦4.5㎝×横3.5㎝、１枚）
成績証明書 及び 修了(見込)証明書	・出身大学（修士課程又は博士前期課程）の学長又は研究科長が作成し、厳封したもの（写し不可） ・偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。 ・日本語又は英語以外の証明書の場合は、日本語訳文（志願者作成可）を添付してください。 ・海外の大学等の修了（見込）者で、修了（見込）証明書内に学位名が記載されていない場合は、併せて学位授与（見込）証明書の提出が必要です。 ・婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。

出 願 書 類 等	摘　　要
学力認定（確認）書類 （Ⅲ 出願資格 の(6)に掲げる出願資格により出願する場合）	・出身大学長等が作成（署名）したもので、下記の内容が記載されたもの 【記載例】 □□大学としては、本学の学生である◇◇◇◇氏は、「（審査名称）」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の資料を添付します。 【添付資料の例】 ・当該審査の合格の基準 ・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料 ・当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料
修士論文等	・修士論文の写し２部又はこれに代わる論文（点数は問わない。）を１点につき２部提出してください。（氏名を記載した表紙を添付してください。） ※ 本学大学院言語文化研究科、人文学研究科を令和8（2026）年3月に修了見込みの者についても、必ず出願用として2部提出してください。博士前期課程修了審査用とは別に提出が必要です。 ・出願期間中に論文を提出することができない者は、出願の際に必ず「論文提出期限延長希望理由書」（論文の提出日を明記し、志願者本人が署名、捺印したもの：様式は任意）を提出してください。なお、提出の延長期限は、令和8(2026)年1月6日(火)17時（持参又は郵送による必着）とします。 ※ 修士論文等を、出願期間中（論文提出期限の延長を希望した者については、令和8（2026）年1月6日(火)17時まで）に提出しなかった者については、受験を認めません。出願書類及び納入された検定料は返還しません。この場合、「受験辞退届」（書式は自由：A4判用紙で、本人が署名･捺印したもの）を提出していただきます。
修士論文等の要約	・提出論文ごとに、日本語で2,000字程度の要約を作成してください。 ・外国語の論文を提出する者については、日本語で6,000字程度の要約を作成してください。 ・A4判用紙を使用し、所定の表紙を付して提出してください。 ・ページ番号を右下に付してください。 ・論文提出期限の延長を希望する者（「修士論文等」欄参照）についても、論文の要約については、必ず出願期間中に提出してください。（論文の要約についての提出期限の延長は認めません。）
研究計画書	・入学後の研究計画について、2,000字程度（日本語）で作成してください。 ・A4判用紙を使用し、所定の表紙を付して提出してください。 ・ページ番号を右下に付してください。
修学歴調書 （所定の様式）	・外国において学校教育の課程を修了した者については、必ず提出してください。
研究業績一覧 （所定の様式）	・出願時までに、学術論文の公表、学会等での研究発表などの研究業績を有する者は、提出してください。
英語外部検定試験成績票	・**「希望指導教員」が所属する専攻言語が「英語」である者のみ**提出してください。 ・詳細は、「**Ⅶ 英語外部検定試験の利用について**」を必ず確認してください。
受験票・写真票・発送票 （所定の様式）	・太枠内に必要事項を記入してください。 ・写真票に入学願書と同じ写真を１枚貼付してください。

出 願 書 類 等	摘　　要
検定料 （３０，０００ 円）	・検定料納入システムにより納入してください。詳細については別紙「検定料納入システムによる検定料納入方法について」をご確認ください。 (https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a_ls_info.html) ・納入完了後、検定料収納証明書(PDF ファイル)をダウンロードし、A4サイズで印刷のうえほかの出願書類とともに提出してください。 ・手数料は志願者の負担とします。 ・納入期間は以下の通りです。 2025年11月17日（月）から11月28日（金） ※最終日の17時まで。 （注）令和8（2026）年3月に本学大学院博士前期（修士）課程又は法科大学院の課程を修了見込みの者及び国費外国人留学生として入学する者については、検定料は不要です。ただし、後者の者については、国費外国人留学生であることを証明できる書類を提出してください。（本学大学院言語文化研究科言語社会専攻及び日本語・日本文化専攻、並びに人文学研究科外国学専攻及び日本学専攻応用日本学コースに在籍している国費外国人留学生は提出不要です。）
返信用封筒 （受験票送付用）	・長形３号（120㎜×235㎜）封筒に出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、110円分の郵便切手を貼付してください。（書留による受験票送付を希望する場合は460円分の郵便切手を貼付してください。）
パスポートの写し （外国籍の出願者のみ）	・顔写真、氏名、国籍等が記載されたページの写しを提出してください。
在留カード（両面） の写し （外国籍の出願者のみ）	・既に渡日し、外国人住民登録を行っている者のみ提出してください。 ・在留資格、在留期間及び現住所が記載された在留カードの両面の写しを提出してください。

（注）１　出願書類は返却しません。また、出願書類に不備がある場合は受理しません。
　　２　納入された検定料は返還しません。ただし、出願書類の不備等の理由により出願書類を受理しなかった場合又は誤って納入した場合は、本人の請求に基づいて返還します。

２　出願期間　**令和7（2025）年11月25日(火)から11月28日(金)**

３　出願方法　（以下のいずれかの方法で出願してください。）

(1) 【持参による場合】
- 提出場所：大阪大学箕面キャンパス 外国学研究講義棟2階　箕面事務部学生支援係
- 出願書類受付時間：**平日9時00分～11時15分、12時15分～17時00分**（**時間厳守のこと**）

(2) 【郵送による場合】
- 出願書類を角形2号（240㎜×332㎜）封筒に入れて、封筒の表に**「博士後期課程外国学専攻入学願書在中」と朱書き**し、巻末の《書類送付先・問い合わせ先》に必ず出願期間内に到着（必着）するように**書留**により発送してください。
- ただし、期限後に到着したもので、**令和7（2025）年11月26日(水)**以前の日本国内発信局消印のあるものについては受け取ります。

なお、受験票は、**令和 7 (2025) 年 12 月 19 日 (金)** に出願者へ郵便で発送する予定です。なお**令和 7 (2025) 年 12 月 24 日 (水)** を過ぎても受験票が到着しない場合は、巻末の《書類送付先・問い合わせ先》に問い合わせてください。

Ⅵ　入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査の成績、口述試験、修士論文又はこれに代わる論文、研究計画書及び成績証明書等の審査の結果を総合して行います。

なお、試験科目「専門」の得点が満点の6割に満たない場合、あるいは口述試験の結果が「不合格」の場合は、他の試験科目の結果にかかわらず、入学試験不合格とします。

1　学力検査等の日程

実　施　期　日	試験科目（配点）	時　　間	摘　要
令和8（2026）年 1月31日（土）	専門（100点）	10：30から12：00まで	※1
	口述試験	13:00から	※2

受け入れを希望する指導教員の研究分野に応じた地域及び言語に関する問題を課します。

（注）**「希望指導教員」が所属する専攻言語が「英語」である**場合は、試験科目「専門」の一部として言語運用能力を確かめるための英文による小論文の試験を課し、提出された英語外部検定試験の成績を得点換算した得点を加えた合計点（配点100点）により評価します。**英語外部検定試験成績の提出方法については、「Ⅶ 英語外部検定試験の利用について」を確認してください。**

※1　入学願書に「希望指導教員」とその教員が所属する「専攻言語」を記入すること。（11ページ～「外国学専攻教員研究分野一覧」参照）

※2　提出論文等及び志望する専攻分野について、口述試験を行う。

2　試験場

大阪大学箕面キャンパス

大阪府箕面市船場東３丁目５番10号

（https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/top）

Ⅶ　英語外部検定試験の利用について

「希望指導教員」が所属する専攻言語が「英語」である者は、IELTS（Academic Module）、TOEFL-iBT Test、又は TOEFL-ITP Tests の成績票（いずれか１つのみ）の提出が必要です。成績票の提出にあたっては、以下の点について留意願います。

【全般的事項】

- ①IELTS（Academic Module）、②TOEFL-iBT Test、又は ③TOEFL-ITP Tests の成績票（いずれか１つのみ）を提出してください。
- 2023 年 4 月 1 日以降に受験したもので、**出願時において有効期限内である成績票のみ有効**です。
- 提出された成績票は返却しません。

【① IELTS（Academic Module）】

- IELTS 事務局から**大学に直接送付される電子送信での成績証明書（Test Report Form）のみ受け付けます**。
- インターネットで IELTS 事務局に申請される際には、送付先を「大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻／日本学専攻応用日本学コース（箕面事務部学生支援係）」、送付先住所を「〒562-8678 大阪府箕面市船場東 3-5-10」とし、備考欄に「電子送信」の旨を記入してください。
- IELTS 事務局から大学へ直接送付される成績証明書（Test Report Form）が出願期間内に届かない見込みの場合は、IELTS から受験者宛てに発行された成績票（Test Report Form）の写しを提出してください。但し、**その場合でも、IELTS 事務局から大学に直接送付される成績証明書（Test Report Form）の送付申請は必ず行ってください。令和 7（2025）年 12 月 12 日（金）までに IELTS 事務局から大学に成績証明書（Test Report Form）が直接届かない場合は得点換算しません。**
- IELTS（General Training Module）は認めません。

【② TOEFL-iBT Test 】

- ETS（Educational Testing Service 以下同じ。）から**大学に直接送付される公式スコアレポート（Institutional Score Report 又は Official Score Report）のみ受け付けます**。
- インターネットで ETS に大学への直接送付の申請をしてください。申請の際に必要となる登録コードは「C685」です。また、Department Code が必要な場合は「98 other humanities」を選択してください。（ETS からスコアレポート発送後、大学に到着するまでに４～６週間以上要する場合もありますので、余裕をもって申請してください。）
- ETS から大学に直接送付される公式スコアレポート（Institutional Score Report 又は Official Score Report）が出願期間内に届かない見込みの場合は、ETS から受験者宛てに発行された Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report の写しを提出してください。但し、**その場合でも、ETS から大学に直接送付される公式スコアレポート（Institutional Score Report 又は Official Score Report）の送付申請は必ず行ってください。令和 7(2025)年 12 月 12 日（金）までに ETS から大学への公式スコアレポート（Institutional Score Report 又は Official Score Report）が直接届かない場合は得点換算しません。**
- Test Date Scores のみを利用します。（MyBest Scores は利用しません。）

【③ TOEFL-ITP Tests 】

- TOEFL-ITP Tests のスコアレポート（受験者用控え）の写しを提出してください。
- **本学以外で受験した TOEFL-ITP Tests のスコアレポート（受験者用控え）の写しを提出する場合は、テストを実施した機関（所属（出身）大学等）から原本証明が必要です**。（原本証明の無いものは無効とします。）
- 出願期間内にスコアレポート（受験者用控え）の写しの提出が無い場合は得点換算しません。

Ⅷ 合格者の発表

令和8（2026）年2月10日（火）13時に、人文学研究科外国学専攻のウェブサイトに合格者の受験番号の掲載を行うとともに、合格者には合格通知書を送付します（https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a_ls_info.html）

なお、合否に関する電話による問い合わせには一切応じません。

Ⅸ 入学手続

合格者は、合格通知に同封する入学手続案内に従い、入学手続を完了してください。

なお、指定された入学手続期間中に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

※入学手続期間は、**合格通知書送付後～令和8（2026）年3月4日（水）**の予定です。

Ⅹ 入学料及び授業料（下記の金額は予定であり、今後変更することがあります。）

1　入学料　282,000円（本学大学院博士前期（修士）課程又は法科大学院の課程を修了し、引き続き博士後期課程に入学する者については、入学料は不要です。）

2　授業料　535,800円（前期分 267,900円・後期分 267,900円）

（注１）在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

（注２）入学料及び授業料の支払方法等については、入学手続案内にて通知します。

Ⅺ 人文学研究科特待留学生制度について（私費外国人留学生として入学を予定する者のみ対象）

人文学研究科では、優秀な留学生の受入れを促進するため、私費外国人留学生を対象に入学試験の機会を通して「特待留学生」の採用を行っています。

この「博士後期課程外国学専攻」の選抜は、特待留学生の採用対象となっている入学試験です。入学試験の出願において、特待留学生の申請を行い、この試験に合格するとともに特待留学生の採用選考で特待留学生にふさわしい優秀な留学生と認められた者について、若干名を特待留学生として採用します。

特待留学生に採用された入学者が受けられる支援（特典）としては、まず、在学中の授業料の全額免除が適用（ただし、適用されるのは博士後期課程標準修業年限3年に限る）されます。このほか、入学後の研究活動等において特待留学生を優先するサポートがいくつか用意されています。

私費外国人留学生として入学予定の志願者は、対象者の条件を満たす限り、特待留学生の申請を行うことができますので、申請方法等を確認するようにしてください。

XII　安全保障輸出管理について

本学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき「大阪大学安全保障輸出管理規程」を定めて貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、合格しても入学が認められない場合や、希望する教育が受けられない又は研究が実施できない等の制限がかかる場合がありますのでご留意ください。詳細については、ウェブサイトを参照してください。

（日本語）https://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/secur_exp/outline
（英語）https://www.osaka-u.ac.jp/en/research/secur_exp/outline

XIII　個人情報の取扱い

1　出願時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。なお、合格者については合格発表日以降、入学後に履修可能な教育プログラムについて案内するために利用することがあります。 また、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。

2　入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法　の調査・研究のために利用します。

3　１及び２で得られた個人情報は、上記のほか、「入学者選抜方法及び大学教育の改善」、「大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画等）」のために利用することがあります。ただし、個人が特定される形で、その成果が公表されることはありません。

4　上記及び入学手続きの業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部または一部を提供します。

XIV　入学試験における個人成績の開示について

入学試験における個人成績等について、開示を希望する受験者本人からの申請に基づき、次のとおり開示します。

(1) 開示内容
① 受験者本人の「専門」試験の得点
② 受験者本人の口述試験の合否（「合格」または「不合格」）
③ 合格者の「専門」試験得点の最低点
ただし合格者が5名未満の場合は③は開示しません。

(2) 申請受付期間 合格者発表日から２週間

(3) 申請方法
希望者は申請受付期間内に、下記（4）の提出書類を巻末の《書類送付先・問い合わせ先》へ「特定記録郵便」にて郵送してください。申請受付期間内の消印がある特定記録郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

(4) 提出書類
① 入学試験情報開示申請書
大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻ウェブサイト（https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a_ls_info.html）からダウンロードできます。
② 受験票の写し
③ 返信用封筒定形（長形3号）の封筒に返信先住所・氏名を明記し、特定記録郵便に必要な郵便切手320円分を貼付してください。

(5) 通知方法
申請受付期間終了後、特定記録郵便で申請者宛に開示内容を通知します。

(6) 注意事項
① 期間終了後の申請は受理しません。
② 担当係窓口での開示内容の通知の受け取りはできません。

XV　その他

1　出願書類の記入事項及び書類等に不備がある場合は、受理しません。

2　出願書類受理後は、書類の差し替えや記入事項の変更は認めません。また、出願書類及び納付された検定料は次の場合を除き返還しません。

ア）出願したが出願資格がなかった場合

イ）出願書類受理期限後に出願書類が到着した場合

ウ）出願書類に不備があり受理できなかった場合

エ）検定料を振り込んだが出願しなかった場合

オ）検定料を誤って二重に振り込んだ場合

※エ）と オ）の場合は、返還請求を希望する旨、巻末の《書類送付先・問い合わせ先》へ連絡してください。

3　出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

4　障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、**令和7(2025)10月10日（金）**までに、巻末の《書類送付先・問い合わせ先》に問い合わせてください。

5　出願後に住所変更等があった場合は、速やかに巻末の《書類送付先・問い合わせ先》に連絡してください。

6　出願にあたっては、自身が志望する研究内容等を踏まえ、後掲の参考資料「教員研究分野一覧」により担当教員、研究分野及び研究題目等を十分に確認しておいてください。

7　過去の入試問題は、箕面事務部学生支援係で閲覧することができます。（コピーは不可） 当該年度に受験者がなかった専攻の試験問題は閲覧できません。詳しくはウェブサイト上の「過去の入試問題について」を確認してください。なお、令和8(2026)年度入試から試験科目を変更しています。
（https://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a_ls_info.html）

XVI 受験上の注意

1　試験場（大阪大学箕面キャンパス）については、大阪大学ウェブサイトアクセスマップ（https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/）や巻末の案内図等を参照してください。

2　試験室等については、試験当日、大阪大学箕面キャンパス外国学研究講義棟１階エントランスホールに掲示する予定です。

3　試験当日は、受験票及び筆記用具（黒鉛筆又は黒い芯のシャープペンシル、消しゴム）を必ず持参してください。なお、受験票を忘れた場合は、試験場入口の係員に申し出てください。

4　時計については、計時機能だけのものに限り使用を認めます。

5　受験者は、試験開始時刻の20分前までに試験室に入室し、受験番号ごとに指定された受験席に着席してください。

6　試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

7　試験開始後は、原則として当該試験終了まで退室を認めません。なお、試験中の発病等やむを得ない事情により一時退室を希望する場合は、挙手して試験監督者に申し出てください。

8　試験に関して不正な行為があると認めた時は、その者の試験を無効とし、以後の受験を禁止します。

9　口述試験の開始10分前までには口述試験控室に待機しておいてください。

10　口述試験は、受験番号順に行うとは限りません。受験者ごとに試験開始時刻・終了時刻が異なりますので、担当者から指示があるまで、必ず口述試験控室で待機しておいてください。

11　試験当日は、学内食堂等は営業しておりませんので、昼食は各自で用意してください。

●外国学専攻教員研究分野一覧（予定）－博士後期課程

専攻言語	職名	担当教員	研究分野	研究題目
中国語	教授	深尾　葉子	社会生態学・中国社会論・越境マネジメント	中国社会の内在論理に則したコミュニケーション分析・中国における環境と人々の生活の相互作用に関する研究・東アジア里山経済の越境マネジメント
		林　初梅	言語社会学、歴史社会学、台湾研究	近現代台湾におけるアイデンティティ形成・言語・社会文化に関する研究
		今泉　秀人	中国現代文学	中国現代文学、特に沈従文作品の表現と内容に関する研究、また作家の事跡に関する研究。また映画と小説との関係について。また中国語圏文学の研究、特に台湾の鍾理和や馬華文学の作品や作家の事跡について。
	准教授	鈴木　慎吾	中国語学	①漢語音韻史（漢字音の歴史的変遷）②切韻系韻書の増補改訂史 ③漢語諸方言音の歴史的変遷
		中田　聡美	中国語学、中国語教育	①現代中国語のモダリティ研究 ②日本語母語話者に対する中国語教育研究
		劉　文兵	映画論、表象文化論	中国映画史、日中映画交流史、欧米映画における中国人の表象
朝鮮語	教授	酒井　裕美	朝鮮近代史	19 世紀後半、統理交渉通商事務衙門を中心として行われた朝鮮の外交政策について
	講師	岩井　亮雄	朝鮮語学	朝鮮語分節音研究、朝鮮語単語史研究、言語の数理科学的研究
モンゴル語	准教授	中嶋　善輝	モンゴル語学	①モンゴル語とチュルク語の言語接触に関する研究 ②カザフ語に関する記述的研究
インドネシア語	教授	原　真由子	社会言語学、インドネシア語学、バリ語学	①バリ語とインドネシア語のコード混在　②バリ語山地方言の社会言語学的研究
		菅原　由美	インドネシア史、東南アジア・イスラーム史	東南アジア島嶼部におけるイスラームの展開
	講師	松村　智雄	インドネシア地域研究、華人研究	ボルネオ島社会の研究、マラッカ海峡両岸の社会史研究、インドネシア国民形成期の華人社会の動態についての研究、インドネシアにおける中国・華人研究の発展についての研究
フィリピン語	教授	宮原　暁	東南アジア華僑華人研究 東南アジア・マイノリティ論	①東・東南アジア近代における多声的アイデンティティ・モデルの可能性 ②東南アジア華僑華人社会の知識人類学的研究
		宮脇　聡史	フィリピン地域研究	フィリピン市民社会（特にカトリック教会）の国民意識・歴史認識と政治・社会参加
	准教授	矢元　貴美	移民政策、異文化間教育	①フィリピンにルーツを持つ子どもの教育における諸問題 ②フィリピン語の母語・継承語教育　③フィリピン語教材と教授法の開発
	講師	白石　奈津子	農村社会学、文化人類学	①東南アジア島嶼部における農業生産コミュニティと制度 ②共同性言説の構築過程における周縁存在の位置づけに関する研究

注１）　指導教員には、主指導教員と副指導教員の区別があります。入学後に主指導教員が決まります。
注２）　この一覧表は、人文学研究科外国学専攻の専任教員に限定して作成しておりますが、今後変更となる場合があります。

専攻言語	職名	担当教員	研究分野	研究題目
タイ語	教授	村上　忠良	タイ地域研究、文化人類学	①タイ系民族シャンの声と文字の宗教実践 ②現代タイ社会における「死の文化」の変容 ③タイ国内の宗教的少数派
	准教授	日向　伸介	タイ近現代史、地域研究	近現代のタイにおける政治と文化
	講師	RATTANASERIWONG SANGTIEAN	言語学、タイ語教育	日タイ両語対照研究、第二言語または外国語としてのタイ語教育
ベトナム語	教授	清水　政明	ベトナム語学	①字喃資料によるベトナム語史研究 ②ベトナム語教育・習得研究
	准教授	ファン ティミィ ロアン	ベトナム語学	①ベトナム人を対象とした漢字・漢語学習指導法 ②ベトナム語教育
	講師	近藤　美佳	ベトナム語学、ベトナム語教育	①在日ベトナム人子弟への母語・母文化継承 ②ベトナム語教育
ビルマ語	教授	井上　さゆり	ビルマ音楽、ビルマ文学	①ビルマ音楽における伝承方法　・記譜法 ②18-19 世紀のビルマ語韻文
	准教授	池田　一人	ビルマ地域研究、ビルマ史	①19 世紀ビルマの民族形成史 ②ビルマの民族問題をめぐる史観研究
		大塚　行誠	言語学	ビルマ語およびクキ・チン系諸言語の記述言語学的研究
ヒンディー語	教授	長崎　広子	ヒンディー文学 インドのヒンドゥー文化	①ヒンディー文学 ②ヒンドゥー教バクティ思想と文化の研究
	准教授	西岡　美樹	言語学・ヒンディー語学	①ヒンディー語と日本語の言語学的対照研究 ②ヒンディー語ウェブコーパスと検索システムの開発
ウルドゥー語	教授	山根　聡	ウルドゥー文学 南アジアのイスラーム文化	①ウルドゥー語の国語化に関する研究 ②南アジアにおけるイスラーム運動の諸相
		北田　信	ウルドゥー語学	①ウルドゥー語学・文学　②新期インド・アーリア語の文学 ③南アジアの伝統芸能
	准教授	宮本　隆史	南アジア史、ウルドゥー語歴史資料論、アーカイブ史	①南アジアの制度史・社会史・文化史 ②ウルドゥー語の歴史資料の研究 ③アーカイブの歴史研究
アラビア語	准教授	依田　純和	アラビア語方言論	①現代アラビア語方言の文法記述 ②近代ユダヤアラビア語 ③マルタ語学
		福田　義昭	アラビア語、アラブ文学	①近現代アラブ小説の歴史的展開 ②昭和戦前・戦中期の在日（とくに在神戸）ムスリム・コミュニティに関する研究
		仲尾　周一郎	言語学、南スーダン地域研究	①アラビア語諸変種に関する現代言語学的研究 ②多言語使用・言語接触と言語変化　③北東アフリカ都市文化研究
ペルシア語	教授	竹原　新	イラン民俗学	イランの民話と俗信に関する研究
	准教授	ジェイ　ベヘナム	ペルシア語学、言語学	現代ペルシア語の言語学観点からの研究
	講師	中村　菜穂	イラン現代文学	①ペルシア詩の比喩および詩的言語の変容に関する研究 ②20 世紀イラン文学の展開 ③詩人の生涯と作品に関する研究

注１）　指導教員には、主指導教員と副指導教員の区別があります。入学後に主指導教員が決まります。
注２）　この一覧表は、人文学研究科外国学専攻の専任教員に限定して作成しておりますが、今後変更となる場合があります。

専攻言語	職名	担当教員	研究分野	研究題目
トルコ語	准教授	宮下　遼	トルコ文学(史)、トルコ社会史	①オスマン朝ディーワーン文学についての文学(史)研究 ②イスタンブール都市社会史 ③現代トルコ作家の社会性を巡る言説研究
	講師	海野　典子	中央ユーラシア近現代史、イスラーム地域研究	①旧ソ連圏・中国のテュルク系民族の歴史・言語・文化・社会 ②旧ソ連圏・中国の民族・宗教問題 ③テュルク系民族やイスラーム圏と日本の交流史
スワヒリ語	教授	小森　淳子	アフリカ言語学	ニジェール・コンゴ語族における動詞構造の形態・統語論比較研究 ① バントゥ諸語における動詞派生形研究 ② ヨルバ語、バンバラ語の統語論記述研究
ロシア語	教授	上原　順一	ロシア語学	現代ロシア語の語彙論・語形成論
		藤原　克美	ロシア経済論	①ロシアの企業及び産業の研究　②ソビエト消費財産業の研究
		横井　幸子	ロシア語教育・言語教育	①高校におけるロシア語教育支援のための基盤研究 ②日本における外国語教育政策研究
		髙橋　健一郎	ロシア音楽・ロシア語学	①20 世紀初頭のロシア文化におけるメトネル兄弟の音楽思想 ②日露対照言語学
ハンガリー語	教授	岡本　真理	ハンガリー言語社会論	近代ハンガリーの民族言語・文学運動
	准教授	江口　清子	ハンガリー語学、言語学	①ハンガリー語の移動表現の研究、 ②認知言語学的言語類型論に基づく第二言語習得研究
ドイツ語	教授	進藤　修一	ドイツ・オーストリア近現代史	①近代ドイツ教育社会史　②ドイツ語圏における教育と民族 ③現代ドイツの移民問題と教育
		中川　裕之	ドイツ語学／言語学	①ドイツ語研究(語順、語用論、談話分析、コーパス、日独語対照、副詞) ②スイスの言語文化研究
	准教授	北岡　志織	ドイツ演劇・文学	現代ドイツ演劇・文学における他者表象
		濵田　洋輔	哲学	①近現代ドイツ哲学 ②生物学(特に進化論)的視点に基づいた哲学・倫理学
デンマーク語	教授	石黒　暢	社会福祉学、社会政策論	①北欧と日本の高齢者介護政策の国際比較研究 ②子育て支援政策の国際比較研究 ③福祉国家論とガバナンス研究
	准教授	大辺　理恵	デンマーク語学、言語学	デンマーク語の法助動詞における意味の歴史的変遷、デンマーク語の心態詞の用法
スウェーデン語	教授	高橋　美恵子	社会学、家族政策	①スウェーデンと日本の家族・ジェンダー ②ワーク・ファミリー・バランスの国際比較研究
		古谷　大輔	近世スウェーデン史(西洋史)	スウェーデンを対象とした近世ヨーロッパにおける複合的国家編成の研究

注１）　指導教員には、主指導教員と副指導教員の区別があります。入学後に主指導教員が決まります。
注２）　この一覧表は、人文学研究科外国学専攻の専任教員に限定して作成しておりますが、今後変更となる場合があります。

専攻言語	職名	担当教員	研究分野	研究題目
英語	教授	畑田　美緒	イギリス文学	19世紀のイギリス小説
		中村　未樹	イギリス演劇・イギリス文化	①エリザベス朝の舞台慣習と演技　②イギリス演劇の通時的研究 ③イギリス文化研究（初期近代から現代まで）
	准教授	岡本　太助	アメリカ演劇・文学・文化	①アメリカ演劇研究（家族表象、パフォーマンス理論） ②アメリカ文学研究（消費文化とメディア） ③アメリカ文化表象論（映画、テレビ、音楽、ビデオゲーム）
	講師	藤山　一樹	イギリス外交史	戦間期イギリスの対ヨーロッパ／対アメリカ政策とその国際秩序への影響
		伊藤　孝治	アメリカ史・日米関係史・環境史・科学技術史	20 世紀前半のアラスカおよび北太平洋における鮭鱒漁業と水産海洋学の発展に関する研究
	助教	近藤　佑樹	現代アメリカ文学・文化	20 世紀後半から現在までのテロリズム表象に関するアメリカ文学研究
フランス語	准教授	岡田　友和	フランス近現代史	19–20 世紀フランスの植民地と帝国をめぐる歴史研究
		篠原　学	フランス近現代文学	① 19–20 世紀フランスの小説芸術およびその制作についての理論的言説 ② 作家の異郷体験と文学的創造の関係 ③ 小説の語り手による省察の研究
	講師	栗原　唯	フランス語学・日仏対照言語学	①現代フランス語における主観性表現の研究 ②公共空間におけるコミュニケーションの研究
イタリア語	教授	ベルテッリ　ジュリオ	イタリア史・日本史・国際関係史（近現代史）	①幕末・明治期における日伊外交・貿易関係に関する研究 ②19–20 世紀のイタリア人が遺した日本関係史料（日記・書簡など）を中心とした研究
		菊池　正和	イタリア文学	①イタリア近現代演劇　②近現代シチリア文学
スペイン語	教授	長谷川　信弥	スペイン語学、カタロニア語学、ロマンス語学	イベリア半島のロマンス語(特にカタロニア語、スペイン語)に関する記述的研究
		中本　香	近代スペイン史	近代スペインにおける国家編成の理論と実践
		松本　健二	現代スペイン語圏文学	現代スペイン語小説における記憶の回復：スペインとチリとペルーの紛争後文学の研究
		岡本　淳子	スペイン文学	①フランコ独裁制時代の検閲と演劇　②ポスト・フランコの演劇
	准教授	川口　正通	スペイン語学、スペイン語教育	①スペイン語語用論研究 ②スペイン語教育・教授法における諸問題に関する研究
ポルトガル語	准教授	鳥居　玲奈	ポルトガル語学	現代ブラジルポルトガル語文法研究（形態統語論・語彙論）
	講師	鳥越　慎太郎	ポルトガル語学・習得研究	①ポルトガル語の叙法とモダリティ ②第二言語ポルトガル語習得

注１）　指導教員には、主指導教員と副指導教員の区別があります。入学後に主指導教員が決まります。
注２）　この一覧表は、人文学研究科外国学専攻の専任教員に限定して作成しておりますが、今後変更となる場合があります。

案内図・問い合わせ先

《案内図》

鉄道：

〇北大阪急行線

箕面船場阪大前駅下車　徒歩約 3 分

《書類送付先・問い合わせ先》

大阪大学人文学研究科箕面事務部学生支援係

〒562-8678 大阪府箕面市船場東 3 丁目 5 番 10 号

E-mail　jinbun-minoh-shien@office.osaka-u.ac.jp